

拠出金名:アフリカ連合平和基金拠出金

国際機関等名	アフリカ連合 (英文名称・略称) African Union (AU)					
種 別	国連(事務局)		国連(基金・計画)		国連専門機関	その他
所轄官庁担当課名	外務省アフリカ第一課					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
単 位	金 額				拠出率(%) (注1.)(注2.)	ODA率(%)
	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト		
平成17年度	26,750			1\$=122円	(2005年)	100
平成16年度	241,253	2,193		1\$=110円	(2004年) 0.7	74.4
平成15年度	16,153	132		1\$=122円	(2003年) 3.2	100
拠出上位5ヶ国				国際機関等の財政(注3.) (2003年度決算)		
	国 名	(千ドル)	率(%) (注2.)	当該年度の収入 6,239,310.27 ドル		
1位	EU	6597	35.9	当該年度の支出 ドル		
2位	デンマーク	2633	14.3	次年度への繰越 ドル		
3位	カナダ	1644	8.9	会計検査機関名		
4位	ノルウェー	808	4.4			
5位	フィンランド	651	3.5			
上記の率及び順位は2004年のもの				(現在の構成員の出身国:)		
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
02年7月の発足以来、AUは、アフリカの統合に向けた協力の中核としてその機能・役割を急速に拡大しており、グレンイーグルズ・サミットで発出されたアフリカ文書にも見られるとおり、我が国を含む国際社会はそれを高く評価している。我が国は、このようなAUとの関係緊密化を対アフリカ政策の最重要課題の一つと位置づけており、初代のAU常駐政府代表の任命、2006年5月の小泉総理のAU本部訪問等によりAUとの連携、ハイレベルでの交流を深めているほか、日・AU政策対話の実施も予定している。						
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価						
AUは、04年3月に全アフリカ議会、5月に平和・安全保障理事会を設置し、また、05年3月に経済・社会・文化理事会を設置したほか、05年より最高機関である総会(首脳会議)の年2回開催(それまでは年1回)を決定するなど、機構整備・機能強化を着実に進めているところである。我が国としてかかるAUの動きを評価・支持している。						
邦人職員数 うち幹部以上	0人 うち 0人	当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体に しめる率		23人(注4.) 0%		
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考		
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						
特になし。(AUは、オーナーシップの原則に基づき、幹部ポストはアフリカ人のみ採用。)						

(注1.) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年(2003年～2005年)。

(注2.) 率は、①域外国の拠出金、②域内国の拠出金、③AUの一般予算からの移転、を合計した数字に対する割合。

(注3.) 収入、支出等はAU全体の予算ではなく、AU平和基金に関するもの。

(注4.) AU全体ではなく、平和・安全保障関連部署のみ。